

船舶事故調査報告書

平成23年3月24日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年11月7日（土） 07時17分ごろ～18時03分ごろの間）
発生場所	不明（山形県酒田市飛島漁港法木地区沖）
事故調査の経過	平成21年11月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	モーターボート 光成丸、5トン未満 211-15710山形、個人所有 8.65m (Lr) × 2.38m × 0.70m、FRP ディーゼル機関、110kW、平成11年4月 船長 男性 65歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成13年6月29日 免許証交付日 平成17年7月19日 (平成23年6月28日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年11月7日07時17分ごろ飛島漁港法木地区沖に到着し、船長は、これから釣りをを行うと携帯電話で友人に連絡した。 本船は、日没後の18時03分ごろ、飛島漁港法木地区北東方約8km付近において、無人で漂流しているところを通りかかった漁船に発見された。 船長は、平成21年11月22日、秋田県秋田市向浜の防波堤付近で発見され、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約3m/s、 海象：波高 約1m、海面水温 約18℃
その他の事項	本船は、05時30分ごろ本船が出航するところを目撃されたが、日出前で暗く、誰が乗船していたのかわからなかった。 本船は、発見時、釣りの準備が整った状態の釣り竿と空のクーラーボックスが船内に残されていたほか、操舵室内に船長と共同所有者の携帯電話、船長の家族が持たせたおにぎり及び飲み物並びに最大とう載人員分の8個の救命胴衣が残されていた。 本船は、主機が中立運転の状態に漂流していた。

	<p>本船には、他船と衝突したような痕跡はなかった。</p> <p>酒田市酒田港の所属マリナーでは、24時間出入港届を提出できるようになっていたが、本船は出入港届を提出していなかった。</p> <p>船長は、発見されたとき救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>船長及び共同所有者の車は、マリナー構内の駐車場に置かれていた。共同所有者は、本事故以降、自宅に戻っていない。</p> <p>船長は、糖尿病の薬を服用していたが、そのほかに持病はなく、日常生活に支障はなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>なし</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺死であった。</p> <p>本船は、船長が07時17分ごろ飛島漁港法木地区沖から携帯電話で友人に釣りをを行う旨の連絡を行ったのち、18時03分ごろ同地区北東方沖において、釣りの準備が整った無人の状態で漂流しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船内に共同所有者の携帯電話が残され、マリナーの駐車場に共同所有者の車が停めてあったことから、共同所有者が同乗していた可能性があると考えられるが、本船が出航するところを目撃されたとき、船内の様子は確認されておらず、共同所有者が乗船していたかどうかについては、明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が飛島漁港法木地区沖で釣り中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	